

## 先輩教師からのメッセージ

3月末は人事異動の時期です。

自分はどうなる、同僚は、友人は、はらはらどきどきです。

近年、異動で、お世話になった退職校長をはじめ、リタイヤする方が気になります。

今の異動では、自分が教員になった頃、理科研究会でお世話になった先輩方が何人か退職され、ほぼその世代が教職を去られたこととなります。今まで、先輩や上司がいることで頼ることが多かったが、もう一人立ちしなくてはならないことを強く実感します。

先日、退職する先輩と話をする機会がありました。

最後に一言ありませんか、とお願いしたら、ちょっと間を置いて、今後の中学校教育の目指さなくてはならないことを話して下さった。

極論すると今までの中学校教育は、

～しっかりやらないと高校に行けないぞ！～

～決まりを守らんと部活動できなくなるぞ！～

～今、一生懸命やっとかんと希望する仕事に就けんぞ！～

などのような「脅し」の教育であったと。

しかし、これからは、純粋に学ぶことが楽しく、学ぶことが役立ち、自分を高める有用感から、意欲的に学ぶようにし向けないといけないと。

平成元年に教員になった自分は、自己教育力、新しい学力観、学び方を学びゆとりの中で課題解決する学びなど、先輩が言った中学校教育を目指す中で仕事をしてきたことになる。

もう、教壇に立つどことは少なくなると思うが、学校、教育行政それぞれの立場で、少しでも先輩が示してくれた指針へ向かって進めたらと決意しているところである。

さて、この時期、最後に勤務した学校で、中学3年生として卒業していった生徒たちが、大学を卒業して就職や進学していった。

私と同じように教職に就いた方、地元で学び、他県へ就職する方、さまざまである。元気で活躍し、幸せに過ごしてほしいものである。

喜び、悲しみ、驚き、不安、期待、そんな複雑な思いを持つ3月末である。